

事務事業実績測定調査

事務事業名称	有料老人ホーム設置届等届出受理・運営指導事務													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	福祉指導監査課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	非選択的事業				区分	非選択的事務事業				
事業期間	2012 (H24) 年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	老人福祉法													
関係補助金名称									サンセット	~				
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		市内に有料老人ホームを設置する者											
	サブターゲット		市内の有料老人ホームに入居する利用者											
	ターゲットが抱える課題		有料老人ホームを運営する事業者は、法令や指針等に基づき、適正なサービス提供をする必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	有料老人ホームの利用者が安心してサービスを利用できる。													
事業概要	有料老人ホームに係る設置届出、変更届出、廃止届出の受理及び報告徴収、立入検査、改善命令に関する事務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					有料老人ホームに係る設置届出等の届出を受理する。				有料老人ホームに係る設置届出等の届出を受け付ける。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				有料老人ホームに係る設置届出、変更届出、廃止届出の受理件数				有料老人ホームに係る設置届出、変更届出、廃止届出の提出件数					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5					
	目標 (見込み)				80 80 80 80				80 80 80 80					
	実績				66				66					
	達成度				83%				83%					
分析				コロナ禍ではあるが、事業所から正しく書類の提出があった。				コロナ禍ではあるが、事業所から正しく書類の提出があった。						
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					指導・研修会を実施することで、事業者が自ら適正な運営を図る。				有料老人ホームに対して指導・研修会を実施する。					
指標設定②	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				指導・研修会の参加事業所数				指導・研修会の実施回数					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5					
	目標 (見込み)				60 63 66 69				1 1 1 1					
	実績				62				0					
	達成度				103%				0%					
分析				ホームページに資料を掲載し、その旨を事業者に通知した。				新型コロナウイルス感染症対策のため、集合研修会は抑制した。						

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					有料老人ホームのサービスの質の確保及び適正な運営ができる。				有料老人ホームに係る運営指導等を行う。			
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				改善報告を求めた件数				報告徴収、立入検査の件数			
	単位				単位				単位			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	指標数値				2 2 2 2				10 10 10 10			
	実績				0				0			
	達成度				100%				0%			
分析				改善報告までに至らないものであった。				新型コロナウイルス感染症対策のため、立入検査は抑制した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,862	2,405	2,791		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,862	2,405	2,791		
	物件費計	58	0	0	0	—	
	歳出計	2,920	2,405	2,791			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		2,920	2,405	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	集団指導や立入調査を年間計画を作成し実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策により、電話相談やWEBの活用等で一部ではあるが補ってきた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	指針に基づき計画をたて運用しているが、新型コロナウイルス感染症対策により一時的に一部抑制はあるものの、利用者が安心・安全・快適に利用できるよう取組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護保険事業者等指定・指導監督等事務						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	健康福祉部	課	福祉指導監査課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					
	施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業		
事業期間	2012 (H24) 年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法						
関係補助金名称					サンセット	~	
関係附属機関名称	枚方市地域密着型サービス等運営審議会						
事業対象	メインターゲット	市内で指定居宅サービス、指定介護予防サービス、指定居宅介護支援、指定地域密着型サービス、指定地域密着型介護予防サービス等の介護保険サービスを実施する者					
	サブターゲット	市内で介護保険サービスを利用する利用者					
	ターゲットが抱える課題	介護保険サービスを実施する事業者は、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供をする必要がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険サービス利用者が安心してサービスを利用できる。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定居宅サービス事業者、指定介護予防サービス事業者、指定居宅介護支援事業者、指定地域密着型サービス事業者、指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定、指定の変更、指定更新、変更等の届出の受理、指定の辞退の受理、指導監督等 老人デイサービスセンター等(老人居宅生活支援事業、老人デイサービスセンター)に係る届出の受理、指導監督等 【拡充内容】 介護保険事業所に対する実地指導の一部を指定事務受託法人に委託する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	各種届出を受理する。				インプット (活動)	介護保険サービス事業者から各種届出の提出がある。			
	指標説明					アウトカム (活動効果)	介護保険サービス事業者に係る新規指定・変更申請・更新申請・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出・処遇改善届出の受理件数				アウトプット (活動結果)	介護保険サービス事業者に係る新規指定・変更申請・更新申請・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出・処遇改善届出の提出件数			
指標設定	指標種類					単位					単位	件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	目標 (見込み)					1,600	1,630	1,660	1,700	1,600	1,630	1,660	1,700		
	実績					1,688				1,688					
	達成度					106%				106%					
分析					コロナ禍ではあるが、事業所から正しく書類の提出があった。一定多い届出である。				コロナ禍ではあるが、事業所から正しく書類の提出があった。一定多い届出である。						
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	各種届出を受理する。				インプット (活動)	老人デイサービスセンター等(老人居宅生活支援事業、老人デイサービスセンター)が各種届出を提出する。			
	指標説明					アウトカム (活動効果)	老人デイサービスセンター等に係る開始届出・変更届出・廃止届出の受理件数				アウトプット (活動結果)	老人デイサービスセンター等に係る開始届出・変更届出・廃止届出の提出件数			
指標設定②	指標種類					単位					単位	件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	目標 (見込み)					250	260	260	260	250	260	260	260		
	実績					218				218					
	達成度					87%				87%					
分析					コロナ禍ではあるが、施設から適正に正しく書類の提出があった。				コロナ禍ではあるが、施設から適正に正しく書類の提出があった。						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③						事業者に対し、前年度の指導結果や留意点、今後の指導方針を説明することで、事業者が自ら適正な運営を図る。				介護保険サービス事業者に集団指導を実施する。			
指標設定③	指標説明					集団指導の参加事業所数				集団指導の実施回数			
		単位				単位 件				単位 回			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					626	646	666	686	2	2	2	2
	実績					739				0			
	達成度					118%				0%			
分析					新型コロナウイルス感染症対策での会場閉鎖及び集团的会議の抑制のため実施できず。ホームページに資料を掲載し、その旨を事業所へ通知した。				新型コロナウイルス感染症対策での会場閉鎖及び集团的会議の抑制のため実施できず。ホームページに資料を掲載し、その旨を事業所へ通知した。				
ロジックモデル④						事業者が、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供を行う。				介護保険サービス事業者に実地指導を実施する。			
指標設定④	指標説明					実地指導・監査件数				実地指導件数			
		単位				単位 件				単位 件			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					130	190	190	190	60	130	130	130
	実績					2				2			
	達成度					2%				3%			
分析					実地指導により、事業所が適正に運用されているか毎年度行っているが、新型コロナウイルス感染症対策での訪問抑制のため実施できず。(昨年分析シートで修正済。(委託ができなかったため))				実地指導により、事業所が適正に運用されているか毎年度行っているが、新型コロナウイルス感染症対策での訪問抑制のため実施できず。(昨年分析シートで修正済。(委託ができなかったため))				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	4.87
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.35
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	7.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	48,581	34,473	38,838		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,106	3,195	2,603		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	57		
		人件費計	50,687	37,668	41,498		
	物件費計	629	373	1,241	1,597	78%	
	歳出計	51,316	38,041	42,739			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	2,625	2,855	2,650	2,540		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	2,625	2,855	2,650	2,540		
一般財源		48,691	35,186	▲ 1,409	▲ 943		

5. 総括的分析

総括的分析	実地指導により、事業所が適正に運用されているか毎年度行っているが、新型コロナウイルス感染症対策での訪問抑制のため目標達成に至らず。(昨年分析シートで修正済。(委託ができなかったため))
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	介護保険法等に基づき運用しているが、新型コロナウイルス感染症対策により、一時的に集団指導や立入調査等一部抑制はあるものの、利用者が安心・安全・快適に利用できるよう取組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	障害福祉サービス事業者等指定・指導監督等事務											
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部			課	福祉指導監査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標		10.障害者が自立し、社会参加ができるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内で指定障害福祉サービスを実施する者			
	サブターゲット	市内で指定障害福祉サービスを利用する利用者			
	ターゲットが抱える課題	障害福祉サービスを実施する事業者は、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供をする必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	障害福祉サービス利用者が安心してサービスを利用できる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定障害福祉サービス事業者の指定、指定の変更、指定更新、変更等の届出の受理、指定の辞退の受理、指導監督等 事業の届出の受理 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						各種届出を受理する。				指定障害福祉サービス事業者から各種届出の提出がある。			
指標設定	指標説明					指定障害福祉サービス事業者に係る新規指定・変更申請・更新申請・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出・処遇改善届出の受理件数				指定障害福祉サービス事業者に係る新規指定・変更申請・更新申請・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出・処遇改善届出の提出件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					1,000	1,020	1,040	1,060	1,000	1,020	1,040	1,060
	実績					1,175				1,175			
	達成度					118%				118%			
	分析					処遇改善届出件数を、介護サービスにあわせて実績報告も含めることとしたため、件数が増加となった。				処遇改善届出件数を、介護サービスにあわせて実績報告も含めることとしたため、件数が増加となった。			
ロジックモデル②						事業者に対し、前年度の指導結果や留意点、今後の指導方針を説明することで、事業者が自ら適正な運営を図る。				指定障害福祉サービス事業者に集団指導を実施する。			
指標設定②	指標説明					集団指導の参加事業所数				集団指導の実施回数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 回			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					280	290	300	310	1	1	1	1
	実績					300				0			
	達成度					107%				0%			
	分析					ホームページ掲載の資料を確認し事業所内で周知するよう通知した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、ホームページに資料を掲載した。			

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					事業者が、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供を行う。				指定障害福祉サービス事業者に実地指導を実施する。			
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				改善報告を求めた件数				実地指導・監査件数			
	単位				単位				単位			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	指標数値				60 60 60 60				60 60 60 60			
	実績				4				4			
	達成度				7%				7%			
分析				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、特に指導又は監査が必要と認められる事業者のみ実施した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、特に指導又は監査が必要と認められる事業者のみ実施した。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	2.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	25,364	22,448	19,368		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	25,364	22,448	19,368		
	物件費計	675	352	941	1,214	78%	
歳出計		26,039	22,800	20,309			
歳入	国庫支出金	0	0	398	398		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	398	398		
一般財源		26,039	22,800	543	816		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通常の指導業務は制限せざるを得なかったが、特に指導又は監査が必要と認められる事業者に対しては、手法を工夫して実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、手法を工夫し、指定・指導業務に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	児童福祉施設指導監督等事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	福祉指導監査課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業							
事業期間	2012(H24)年度		年度	~	年度まで								
根拠法令等	児童福祉法												
関係補助金名称							サンセット	~					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	市内で保育所等児童福祉施設を運営する者											
	サブターゲット	市内の保育所等を利用する児童											
	ターゲットが抱える課題	保育所等を運営する事業者は、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供をする必要がある。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所等を利用する児童及び保護者が安心して利用できる。												
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実地指導監査 ・保育所等に係る社会福祉施設最低基準等状況調査書(施設調書)の提出指導 												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					保育所等を運営する事業者が、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供を行う。				児童福祉法等に基づき、指導監査を実施する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				改善報告を求めた件数				報告徴収・指導監査件数			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位				単位				単位			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値 (見込み)				20 20 10 10				114 114 114 114			
	実績				4				57			
達成度				180%				50%				
分析				指導監査を実施した施設が少なかったため、改善報告を求めた件数も少なかった。				一部の小規模保育事業については、市及び施設において感染防止対策等が可能な施設のみ指導監査を実施したが、それ以外の施設は令和3年度に延期した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,361	8,819	7,178		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	6,361	8,819	7,178		
	物件費計	176	81	6	84	0%	
	歳出計	6,537	8,900	7,184			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		6,537	8,900	6	84		

5. 総括的分析

総括的分析	一部の小規模保育事業については、市及び施設において感染防止対策等が可能な施設のみ指導監査を実施したが、それ以外の施設は令和3年度に延期した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、感染防止対策をとり、実施手法も工夫して、指導監督事務を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	認可外保育施設指導監督等事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	福祉指導監査課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業	
事業期間	2012(H24)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	児童福祉法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市内で認可外保育施設を運営する者				
	サブターゲット	市内の認可外保育施設を利用する児童				
	ターゲットが抱える課題	認可外保育施設を運営する事業者は、法令や指針等に基づき、適正なサービス提供をする必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	認可外保育施設を利用する児童及び保護者が安心して利用できる。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査 運営状況の報告徴収 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書交付等 					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						認可外保育施設を運営する事業者が、法令や指針等に基づき、適正なサービス提供を行う。				児童福祉法等に基づき、指導監査を実施する。			
指標設定	指標説明					認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書交付件数				報告徴収・立入調査件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					45	51	57	63	100	110	120	130
	実績					24				81			
達成度					53%				81%				
分析					立入調査を実施したのは30施設だったので、妥当な件数である。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、市及び施設において感染防止対策等が可能な施設のみ立入調査を実施した。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,553	7,215	9,171	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	7,553	7,215	9,171	
	物件費計	32	0	0	0	—
	歳出計	7,585	7,215	9,171		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		7,585	7,215	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、市及び施設において感染防止対策等が可能な施設のみ立入調査を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、感染防止対策をとりながら、立入調査を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	障害児通所支援事業者等指定・指導監督等事務											
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	福祉指導監査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業	
事業期間	2019 (R1) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	児童福祉法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市内で指定障害児通所支援事業を実施する者				
	サブターゲット	市内で指定障害児通所支援事業を利用する児童				
	ターゲットが抱える課題	障害児通所支援事業を実施する事業者は、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供をする必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害児通所支援事業を利用する児童が安心してサービスを利用できる。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定障害児通所支援事業者の指定、指定の変更、指定更新、変更等の届出の受理、指導監督等 事業の届出の受理 					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	各種届出を受理する。				インプット (活動)	指定障害児通所支援事業者から各種届出の提出がある。			
	指標説明					アウトカム (活動効果)	指定障害児通所支援事業者に係る新規指定・変更申請・更新申請・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出・処遇改善届出の受理件数				アウトプット (活動結果)	指定障害児通所支援事業者に係る新規指定・変更申請・更新申請・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出・処遇改善届出の提出件数			
指標設定	指標種類	単位				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					300	310	320	330	300	310	320	330		
	実績					178				178					
	達成度					59%				59%					
	分析					処遇改善届出件数は、障害福祉サービスと区分するのが困難なため、障害児通所支援では計上しなかった。				処遇改善届出件数は、障害福祉サービスと区分するのが困難なため、障害児通所支援では計上しなかった。					
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	事業者に対し、前年度の指導結果や留意点、今後の指導方針を説明することで、事業者が自ら適正な運営を図る。				インプット (活動)	指定障害児通所支援事業者に集団指導を実施する。			
	指標説明					アウトカム (活動効果)	集団指導の参加事業所数				アウトプット (活動結果)	集団指導の実施回数			
指標設定②	指標種類	単位				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					80	90	90	90	1	1	1	1		
	実績					68				0					
	達成度					85%				0%					
	分析					ホームページ掲載の資料を確認し事業所内で周知するよう通知した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、ホームページに資料を掲載した。					

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					事業者が、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供を行う。				指定障害児通所支援事業者に実地指導を実施する。			
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				改善報告を求めた件数				実地指導・監査件数			
	単位				単位				単位			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	指標数値				20 20 20 20				20 20 20 20			
	実績				4				4			
達成度				20%				20%				
分析				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、特に指導又は監査が必要と認められる事業者のみ実施した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、特に指導又は監査が必要と認められる事業者のみ実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	10,422	12,630	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	10,422	12,630	
	物件費計	—	188	132	132	100%
	歳出計	—	10,610	12,762		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	10,610	132	132	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通常の指導業務は制限せざるを得なかったが、特に指導又は監査が必要と認められる事業者に対しては、手法を工夫して実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、手法を工夫し、指定・指導業務に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	社会福祉施設許認可・指導監督等事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	福祉指導監査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	32.自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会福祉法、老人福祉法、介護保険法、障害者総合支援法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の介護保険施設、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、障害者支援施設等を運営する社会福祉法人			
	サブターゲット	市内の介護保険施設、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、障害者支援施設等を利用する利用者			
	ターゲットが抱える課題	社会福祉法人は、法令等に基づき、社会福祉施設の適正な運営及びサービス提供をする必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	社会福祉施設の利用者が安心してサービスを利用できる。				
事業概要	社会福祉施設(介護保険施設、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、障害者支援施設等)の許認可・指定及び指導監督				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	各種届出を受理する。				インプット (活動)	社会福祉施設を運営する事業者から各種届出の提出がある。							
	指標説明					アウトカム (活動効果)	社会福祉施設を運営する事業者に係る設置許可・開始届出・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出の受理件数				アウトプット (活動結果)	社会福祉施設を運営する事業者に係る設置許可・開始届出・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出の提出件数							
指標設定	指標種類					単位	件		増加することが良いとされる指標				単位	件		増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
	実績					12					12								
	達成度					120%				120%									
	分析					年度により変動があるが、想定どおりであった。				年度により変動があるが、想定どおりであった。									
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	各種届出を受理する。				インプット (活動)	介護保険施設を運営する事業者が指定、指定の変更、指定更新、変更等の届出を提出する。							
	指標説明					アウトカム (活動効果)	介護保険施設を運営する事業者に係る新規指定・変更申請・更新申請・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出・処遇改善届出の受理件数				アウトプット (活動結果)	介護保険施設を運営する事業者に係る新規指定・変更申請・更新申請・変更届出・廃止届出・休止届出・再開届出・処遇改善届出の提出件数							
指標設定②	指標種類					単位	件		増加することが良いとされる指標				単位	件		増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
	実績					49					49								
	達成度					163%				163%									
	分析					年度により変動があるが、変更届出の件数が毎年多く、想定を超えている。				年度により変動があるが、変更届出の件数が毎年多く、想定を超えている。									

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③						社会福祉施設を運営する事業者が、法令等に基づき、適正なサービス提供を行う。				社会福祉施設を運営する事業者に係る指導監督を実施する。			
指標設定③	指標説明					改善報告を求めた件数				報告徴収・指導監査件数			
		単位				単位 件				単位 件			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					5	5	2	2	58	58	58	58
	実績					0				36			
	達成度					100%				62%			
分析					新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、実地指導監査は令和3年度に延期した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、実地指導監査は令和3年度に延期し、報告徴収のみ実施した。				
ロジックモデル④						事業者に対し、前年度の指導結果や留意点、今後の指導方針を説明することで、事業者が自ら適正な運営を図る。				介護保険施設を運営する事業者に集団指導を実施する。			
指標設定④	指標説明					集団指導の参加事業所数				集団指導の実施回数			
		単位				単位 件				単位 回			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					30	30	30	30	1	1	1	1
	実績					35				0			
	達成度					117%				0%			
分析					ホームページ掲載の資料を確認し法人内で周知するよう通知した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、ホームページに資料を掲載した。				
ロジックモデル⑤						事業者が、法令や基準条例等に基づき、適正なサービス提供を行う。				介護保険施設を運営する事業者に実地指導を実施する。			
指標設定⑤	指標説明					改善報告を求めた件数				実地指導・監査件数			
		単位				単位 件				単位 件			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					1	1	1	1	5	5	5	5
	実績					0				0			
	達成度					100%				0%			
分析					新型コロナ感染症対策での訪問抑制のため実施できず。				新型コロナ感染症対策での訪問抑制のため実施できず。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	13,914	19,241	17,545		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	393	204		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	13,914	19,634	17,749		
	物件費計	176	106	3	68	4%	
	歳出計	14,090	19,740	17,752			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	241	111	144		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	241	111	144		
一般財源		14,090	19,499	▲ 108	▲ 76		

5. 総括的分析

総括的分析	指導監査業務は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は実施を見送ることとなった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえながら、適正な指導監査が実施できるよう、業務継続に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	社会福祉法人等認可・指導監督等事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	福祉指導監査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		32.自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業	
事業期間	2012(H24)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	社会福祉法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称	社会福祉審議会社会福祉法人設立認可等専門分科会					
事業対象	メインターゲット	市内でのみ事業を実施する社会福祉法人				
	サブターゲット	市内の社会福祉法人が実施する事業等の利用者				
	ターゲットが抱える課題	社会福祉法人は、法令等に基づき、適正な運営及びサービス提供をする必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	社会福祉施設等の利用者が安心してサービスを利用できる。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・認可及び届出受理 ・報告書受理 ・実地指導監査 					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						各種届出等を受理する。				社会福祉法人が各種届出等を提出する。			
指標設定	指標説明					社会福祉法人に係る設立認可・社会福祉充実計画の承認・定款変更認可・定款変更届・不動産使用証明の交付・法人台帳変更等の受理件数				社会福祉法人に係る設立認可・社会福祉充実計画の承認・定款変更認可・定款変更届・不動産使用証明の交付・法人台帳変更等の提出件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					26	26	26	26	26	26	26	26
	達成度					62%				62%			
	分析					年度により変動があるが、想定範囲である。				年度により変動があるが、想定範囲である。			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						社会福祉法人に対し、前年度の指導監査結果や留意点、今後の指導方針を説明することで、法人が自ら適正な運営を図る。				社会福祉法人に指導監査に係る説明会を実施する。			
指標設定②	指標説明					法人説明会の参加法人数				法人説明会の実施回数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 回			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					62	62	62	62	1	1	1	1
	達成度					100%				0%			
	分析					ホームページ掲載の資料を確認し法人内で周知するよう通知した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、ホームページに資料を掲載した。			

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					社会福祉法人が、法令等に基づき、適正な運営及びサービス提供をする				社会福祉法人に係る指導監査を実施する。					
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				改善報告を求めた件数				社会福祉法人に係る指導監査件数					
	単位				単位 件				単位 件					
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)						5	3	3	2	19	12	12	12
	実績						0				0			
	達成度				100%				0%					
分析				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、実施を令和3年度に延期した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、実施を令和3年度に延期した。						

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,235	8,017	9,570		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,034	1,075	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	8,269	9,092	9,570			
	物件費計	208	188	75	596	13%	
歳出計		8,477	9,280	9,645			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		8,477	9,280	75	596		

5. 総括的分析

総括的分析	指導監査業務は実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、計画を変更せざるを得ず、最終的に次年度へ延期となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	指導監査の手法を工夫し、業務を継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	福祉指導監査課運営事務											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	福祉指導監査課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		9. 施策体系外									
	施策目標		99. 施策体系外									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	2012 (H24) 年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称						サンセット	~				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		課の運営に係る庶務事務								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		庶務事務を正確に執行するには、締切や事務に要する時間等を考慮したスケジュール管理が必要である。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	福祉指導監査課の庶務事務を正確・迅速に執行できている。										
事業概要	課の運営業務										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	単位			単位			単位					
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
実績													
達成度													
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	33,633	16,435	15,950		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	33,633	16,435	15,950		
	物件費計	32	378	519	1,181	44%	
歳出計		33,665	16,813	16,469			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		33,665	16,813	519	1,181		

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、現地に赴いての指導監査等は制限せざるを得なかったが、新型コロナウイルス感染症に関する情報を事業者へ周知したり、感染防止のための物品を調達する等の業務が増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、課の運営にかかる事務を適正に実施する。